



# 茶の薫る丘

## 開校47周年

令和8年6月1日発行

### 夏到来！



黒須中  
静・ジャック

6月の和名「水無月」は、「田んぼに水を引く月」を由来とし、「水の月」という意味があります。私の地元では、田んぼも多く、その田んぼには、5月下旬に水が張られ、稲も植われました。四季が楽しめる日本は、本当に素晴らしい国だと思います。また、制服で行った「衣替え(ころもがえ)」は、季節に応じて服を入れ替える日本の伝統的な習慣です。その起源は、なんと平安時代までさかのぼります。当時、貴族たちは夏と冬で着物の素材や色を変えており、それが宮中行事「更衣(こうい)」として定着していたそうです。やがて江戸時代になると、幕府が6月1日と10月1日を衣替え日と定め、庶民にもそれが広がっていったということらしいです。

ところで、暦の上では、「立春」から135日目の6月11日が「入梅」です。そして、21日は夏に至ると書いて「夏至」。「冬至」とは逆で、1年でもっとも昼の時間が長くなる日です。この日を過ぎるといよいよ本格的な夏を迎えます。

さて、特に3年生にとってですが、この夏は、重要な時期となると思います。しっかりと準備を整え、進路選択に向けた取り組みを行いましょう。1・2年生は、夏の暑さに負けない気持ちと体づくりに専念しましょう。そのことが、自身の進路選択時にも役立ちます。全員が、稲の成長に負けないように、ゆっくり・じっくり自分を鍛えていきましょう。

### 平和を願って

「6月23日」は、沖縄の「慰霊の日」です。この日は、沖縄県が制定している記念日で、沖縄戦等の戦没者を追悼する日です。そもそも、みなさんは、沖縄戦を知っていますか？

沖縄戦は、第二次世界大戦末期の1945年(昭和20年)3月26日から始まり、主な戦闘は沖縄本島で行われ、組織的な戦闘は4月2日に開始、6月23日に終了しました。特に首里(現・那覇市の一部)北方で激戦となったそうです。海上では特別攻撃隊を中心とした日本軍航空部隊が攻撃を繰り返し、戦艦「大和」などの日本海軍残存艦隊による「沖縄特攻」も行われました。

沖縄戦では、陸海空において両陣営の大兵力が投入され、使用された銃弾・砲弾の数は、連合国軍側だけで2,716,691発、その他、砲弾60,018発と手榴弾392,304発、ロケット弾20,359発、機関銃弾3,000万発弱が発射されたそうです。地形が変わるほどの激しい艦砲射撃が行われたため「鉄の暴風(英: Typhoon of Steel)」等と表現されています。

この数字だけ捉えても、この戦争の壮絶さや悲惨さが伝わってきますが、沖縄での両軍および民間人を合わせた地上戦中の戦没者は20万人、日本側は沖縄県民での4人に一人が犠牲になったとされています。

また、看護(訓練)を目的に作られた「ひめゆり学徒隊」は、皆さんと同じくらいの年頃の女子生徒と教師で構成されていました。この「ひめゆり学徒隊」をはじめ、沖縄では、幼子から年配の方まで多くの方々が、集団自決を行いました。もちろん、自分の愛する家族や仲間を…。こんな悲しくも残酷な行為、想像もできませんし、したくありません。言葉が詰まりますね。

世界では、紛争が続いています。世界中平和で、二度と戦争が起こらないよう願うとともに、戦争が起こらない世界の実現にみなさんが貢献できることを期待しています。

そして、戦没者の方々のご冥福をお祈りいたします。

校長

4/22 生徒会朝会（令和8年度の目標発表）



○ 4月の授業風景（今年も黒須中は学び合い）



5/9 授業公開(ご参会ありがとうございました)



5/13 生徒会朝会（生活委員会：黒須中の生活）



5/13 生徒総会（6/10）に向けて



5/15 小中一貫教育あいさつ運動



5/19 学習会（テストに向けてやる気满满！）



5/21 1学期中間テスト（最後までがんばる）



### “ Cleaning Is Our Pride.”

毎日の生活中で、清掃への取り組みが、どの学年も素晴らしいです。先輩達から引き継ぐ黒須中の良さです。「**自分たちの生活の場をきれいに保つ**」という気持ちが表れています。この心意気が黒須中の誇りです。

